

## 【水の里の旅コンテスト 2020 応募企画】

### 【学生部門】

斎藤（東京都杉並区）

『尾瀬片品の名水、味わいの旅 尾瀬の山麓から流れ出る 10ヶ所の湧水を飲み比べてみよう』

（観光地域：群馬県 片品村）

【日程】	1泊2日		
【実施時期】	春・夏・秋		
【催行人員】	20名（最少催行人員：6名）	【お勧めする旅行者層】	水道水では妥協しない、おいしい水を求める都会の人
【旅行代金】	29,700円 （大人1名）	【内訳】	
		尾瀬戸倉温泉 宿泊費（1泊2食付）：14,000円、ガイド料：2,000円 貸切バス：8,000円、1日目昼食：1,500円、2日目昼食：1,500円 日光白根山ロープウェイ（往復）：2,000円、「花咲の湯」入浴料：700円	
【企画趣旨（伝えたいポイント及び旅行者が満足するポイント）】			
<p>「尾瀬の郷片品湧水群」は、優れた水質に加え村民による長年の取り組みが評価され、平成20年度に環境省より「平成の名水百選」として認定されました。この湧水群は、尾瀬や片品村を囲む山々に降った雪や雨が地下に浸透し、長い時間をかけて自然の中で濾過され、各所に湧出したものです。湧水源は村内に広く数カ所にあり、村民は古くから生活に、また田畑の用水として使ってきました。飲んでおいしい水は、感覚的な評価のほかに、水質検査による裏づけがあります。片品湧水群の水は、硬度11～55、pH7.3～8.2と、おいしい要素を満たしています。</p> <p>片品村では「平成の名水百選」認定を機に、村を訪れる方々にこの湧水のおいしさを直接味わっていただきたいと考えました。しかし、場所によっては湧水源が深い山林の中にあり、保存林となっているために立ち入ることはできません。そこで地域住民の協力を得て、いわば「村民プロジェクト」として運動を起こしました。村内の10カ所に取水設備を整え、おいしい水を求める人に便宜を図りました。それぞれ一番近い水源から直接引いています。ぜひ、おいしい湧水めぐりをお楽しみください。</p>			
【安全確保のための配慮】		【旅行者の満足感を高めるための工夫、快い旅行にするための配慮】	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地元を知り尽くしたガイドの同行</li> <li>2. 観光ルートの確認（パンフレットの作成）</li> <li>3. 緊急時連絡体制の確保</li> <li>4. コロナ感染対策のため参加者数を超える定員のバスを使用</li> </ol>		<p>湧水地・給水口の整備をしている地元の方に同行してもらい、各湧水の解説や水にまつわる郷土史、沼田街道の会津との交易史などについてガイドをしてもらう。片品村の10ヶ所の湧水を回る道すがら、主要道から外れた素朴で美しい村の景色を堪能してもらいたい。</p>	
【インバウンド対応のための工夫】			
<p>英語、中国語、韓国語等の「尾瀬片品名水マップ」を作成し、片品村の観光課HPに掲載し、外国からの参加者に配布します。可能ならば、外国語専攻または外国語を使う機会を求める群馬県内の学生などにボランティアとして通訳をしてもらいます。</p>			
【企画協力（後援）機関・団体名等】	【主な役割】	【企画協力（後援）機関・団体名等】	【主な役割】
① 片品村むらづくり観光課	情報提供	⑥ 東京電力「尾瀬ぷらり館」	展示見学ガイド
② 片品村観光協会	情報提供	⑦ 日光白根山ロープウェイ	白根山観光
③ 群馬バス / 上信観光バス	貸切バス	⑧ 「天空テラス・天空カフェ」	二日目昼食
④ 道の駅「尾瀬かたしな」	一日目昼食・土産販売	⑨ 花の駅「花咲の湯」	入浴など
⑤ 尾瀬戸倉観光協会	宿泊施設紹介	⑩ 湧水の給水口を管理する地元の方々	湧水等のガイド
【特記事項】	<p>貸切バスを使う団体旅行として設定していますが、湧水地スタンプラリー（〇ヶ所以上訪問で景品を贈呈）や宿泊・食事・有料施設入場セット券を作成するなどして、自家用車やレンタカーを使って回るプランとしても使えます。</p> <p>なお、片品村内の水道は全てこの山中の湧水源から取水しています。村内の宿や食事処で提供される水もそうです。湧水自体が非常に清潔であることが各種の検査で証明されています。</p> <p>浄水処理の必要がなく、わずかな塩素消毒のみで安全な、ほぼ自然の水として供給されています。</p>		
【催行実績】	無		

【 行 程 表 】

1 日目	<p>10:00 JR（上越新幹線）上毛高原駅（集合1） ↓ 9分 3.0km</p> <p>10:10～10:20 JR（上越線）後閑駅（集合2） ↓ 47分 33.4km</p> <p>11:10～11:30 名水① 花咲の出水（花咲・登戸 道沿い） ↓ 25分 9.6km</p> <p>12:00～12:20 名水② 武尊湧水（花咲・武尊牧場 林の中） ↓ 37分 18.0km</p> <p>13:00～14:40 道の駅「尾瀬かたしな」（昼食、土産購入） ↓ 0分（敷地内）</p> <p>14:40～15:00 名水③ 花の谷湧水（道の駅 駐車場の横） ↓ 9分 5.1km</p> <p>15:10～15:30 名水④ 伊閑町の清水（土出） ↓ 7分 3.5km</p> <p>15:40～16:00 名水⑤ 尾瀬岩鞍湧水（尾瀬岩鞍スキー場の中） ↓ 21分 15.1km</p> <p>16:30～16:50 名水⑥ 大清水湧水（戸倉・大清水 店先） ↓ 12分 7.8km</p> <p>17:10 尾瀬戸倉温泉の宿（夕食、入浴、宿泊）</p>
2 日目	<p>09:00 尾瀬戸倉温泉の宿（朝食） ↓ 3分程度 1.0km 以内</p> <p>09:10～09:30 名水⑦ 戸倉湧水（尾瀬ぷらり館 入口の脇） ↓ 0分（敷地内）</p> <p>09:30～10:30 東京電力「尾瀬ぷらり館」（入館・見学） ↓ 28分 21.1km</p> <p>11:00～11:20 名水⑧ 丸沼高原涼水（丸沼高原スキー場 駐車場の中） ↓ 1分 200m</p> <p>11:30～14:00 日光白根山ロープウェイ（天空テラス・天空カフェ、昼食） ↓ 25分 15.8km</p> <p>14:30～14:50 名水⑨ 観音様の水（御座入） ↓ 14分 8.1km</p> <p>15:10～15:30 名水⑩ 武尊の恵水（花咲の湯 玄関脇） ↓ 0分（敷地内）</p> <p>15:30～16:50 花の駅「花咲の湯」（入浴、土産購入、土日祝は16:00～夕食可） ↓ 46分 32.7km</p> <p>17:40～17:50 JR（上越線）後閑駅（解散1） ↓ 9分 3.0km</p> <p>18:00 JR（上越新幹線）上毛高原駅（解散2）</p>

【 主な観光ポイント（観光地・観光箇所の歴史、由来、土産品など） 】

【名水① 花咲出水・名水② 武尊湧水】	【道の駅尾瀬かたしな・名水③ 花の谷湧水】	【名水④ 伊閑町の清水（土出）】
  <p>片品村観光協会 <a href="https://oze-katashina.info/">https://oze-katashina.info/</a></p>	  <p>片品村観光協会 <a href="https://oze-katashina.info/">https://oze-katashina.info/</a></p>	  <p>片品村観光協会 <a href="https://oze-katashina.info/">https://oze-katashina.info/</a></p>

<p>名水①「花咲出水」            硬度:18.0 pH:7.7 取水量 16 ℓ/分 冬期:×</p> <p>武尊の恵水の上方にあり、花咲民宿村の看板を目印に、ペンション村・オグナほたかスキー場へ向かう道沿いにあります。</p> <p>この給水口は地元の人たちの協力で整備されました。中心となった方は郷土への思いが強く、村へ寄付もされています。脇に置かれた看板と石版がその郷土愛を物語っています。</p> <p>名水②「武尊湧水」            硬度:16.0 pH:7.6 取水量 10.8 ℓ/分 冬期:×</p> <p>湧出口は武尊牧場のリフト乗り場の左の緩い傾斜の牧草地を 200m ほど登った先、山林に入った所にあります。</p> <p>周囲は白樺や保水力のあるブナの緩やかな樹林帯で、森林浴には絶好のコースです。途中、映画「眠る人」(小栗康平監督・1996 年)のロケ跡が残っています。</p>	<p>片品村役場の隣に 2018 年 7 月にできました。</p> <p>新鮮な高原野菜を販売する「農産物直売所かたしな屋」、地元産小麦と名水で作るうどんが自慢の「かたしな食堂」、地元のシェフや主婦が料理を提供する「村民キッチン」、ソフトクリームや焼きトウモロコシが楽しめる「スナックコーナー」、尾瀬の稜線を眺める「展望テラス&amp;足湯」、芝生や水遊び場などがある「813 広場」などがあります。</p> <p>名水③ 花の谷湧水            硬度:22.0 pH:7.5 取水量 16 ℓ/分 冬期:×</p> <p>道の駅の駐車場横にあります。国道 120 号線に面するアクセスの良さもあり、近隣の住民の他、多くの観光客の方々が立ち寄ります。</p> <p>背後の山の中腹の湧水源から直接、約 1.5km をパイプで引いています。</p> <p>地元の方々が給水口の清掃、池の整備、芝生の手入れをし、樹木の面倒をみて、花壇の除草は敬老会の皆さんが協力してくれます。</p>	<p>硬度 55.0 pH:8.2 取水量 11 ℓ/分 冬期:×</p> <p>この清水は農家の母屋から 20 メートルほど離れた所にあります。絶えることなく冷たいおいしい水を出し続けています。おそらく相当深い所の伏流水から出てきているのでしょう。</p> <p>先祖の人たちがこの湧水を見つけ、恵みの土地として住みつき、農地を開拓したのでしょう。</p> <p>伊閑町は「いかんちょう」と読みます。昔は「伊閑丁」と書いていたそうです。土出は「つちいで」と読み、伝説に登場します。平安時代末期の平家全盛の頃、その横暴な振る舞いを怒った皇族の高倉院以仁王(もちひとおう)は東国を地盤とする源氏に征討の勅命を下しますが、自らは拳兵に失敗し、この地を経てさらに東北に逃れたという伝説があります。</p>
<p>【名水⑥ 大清水湧水(戸倉・大清水)】</p>	<p>【尾瀬戸倉温泉・名水⑤ 尾瀬岩鞍湧水】</p>	<p>【尾瀬ぷらり館・名水⑦ 戸倉湧水】</p>
  <p>片品村観光協会  <a href="https://oze-katashina.info/">https://oze-katashina.info/</a></p>	  <p>片品村観光協会  <a href="https://oze-katashina.info/">https://oze-katashina.info/</a></p>	  <p>尾瀬戸倉観光協会  <a href="http://www.oze-navi.com/">http://www.oze-navi.com/</a>            片品村観光協会  <a href="https://oze-katashina.info/">https://oze-katashina.info/</a></p>
<p>硬度:19.0 pH:7.4 取水量 10 ℓ/分 冬期:×</p> <p>大清水の湧水口は保護林の奥にあるため、現在は行けません。主駐車場の周囲にはレストランや休憩所があり、湧水口の近くから店主が引いてきた湧水を店先で汲むことができます。片品村 10 名水のうち最も山奥にある給水場所です。</p> <p>大清水はここを取り巻く山々の沢や溪流が集まっている所で、さらに遡ると片品川の源流へ向かいます。</p> <p>ここでは 4 月の末から、残雪を掻き分けて頭をもたげてくる水芭蕉が見られます。車椅子が通れるワイド木道が整備されています。</p> <p>大清水から溪流沿いに山間の道を尾瀬沼湖畔に行く途中には一ノ瀬休憩所があり、岩清水の水場があります。この水場は、群馬県内の山岳地水場の水質検査を行った群馬県衛生環境研究所が筆頭にあげているおいしい水が飲める所です。</p>	<p>尾瀬戸倉温泉は尾瀬の玄関口にあり、お肌がスベスベになると評判の温泉です。</p> <p>観光協会所有のサッカー場・野球場・テニスコートがあり、夏は高原でのスポーツ合宿が盛んです。春～秋は尾瀬観光、冬は『スノーパーク尾瀬戸倉』でのスキー・スノボが楽しめる好立地にあります。</p> <p>観光協会は『尾瀬ぷらり館』内にあり、尾瀬観光、スポーツ合宿の案内や宿泊施設の紹介などを行っています。</p> <p>名水⑤ 尾瀬岩鞍湧水            硬度:28.0 pH:7.3 取水量 19 ℓ/分 冬期:×</p> <p>ホワイトワールド尾瀬岩鞍スキー場の中にあります。第 1 駐車場からゲレンデへ向かう正面、十二様の社の左側に給水口が設けられています。</p> <p>山の守り神とされる十二様の水として、生活水としてきたものです。</p>	<p>尾瀬ぷらり館は、尾瀬入山口の戸倉にあり、尾瀬へ向かうバスの停留所や駐車場に隣接しています。館内には尾瀬ネイチャーセンターや、日帰り温泉「戸倉の湯」などがあります。</p> <p>尾瀬ネイチャーセンターでは、入山の注意点や、尾瀬の歴史・自然・環境・保護活動について学んだり、旬の尾瀬情報や尾瀬で暮らす動植物の展示を見ることができます。</p> <p>江戸時代から明治の中頃まで、会津(福島県)との交易の中継地でした。ここに関所が設けられていたことにちなみ、ぷらり館の前に、その形が復元されています。</p> <p>名水⑦ 戸倉湧水            硬度:19.0 pH:7.8 取水量 1.5 ℓ/分 冬期:×</p> <p>尾瀬ぷらり館の前に、給水口が設けられています。戸倉の周りの山の伏流水が湧水となって流れを形成し、この地区の水道はこれらの湧水の貯水池から配水しています。</p>

【名水⑧ 丸沼高原涼水・白根山ロープウェイ】	【名水⑨ 観音様の水】	【名水⑩ 武尊の恵水・花咲の湯】
  <p>片品村観光協会  <a href="https://oze-katashina.info/">https://oze-katashina.info/</a>  丸沼高原総合案内  <a href="https://www.marunuma.jp/green/">https://www.marunuma.jp/green/</a></p>	  <p>片品村観光協会  <a href="https://oze-katashina.info/">https://oze-katashina.info/</a></p>	  <p>片品村観光協会  <a href="https://oze-katashina.info/">https://oze-katashina.info/</a></p>
<p>硬度:28.0 pH:7.3 取水量 3 ℓ/分 冬期:×</p> <p>丸沼高原スキー場駐車場に入っすぐ、右側前方に見えるところに設置されています。日光白根山の伏流水を水源とする配水池から引いてきたもの。標高 1,400m と片品村で一番高い所にある給水場所です。</p> <p>丸沼高原ロープウェイ山麓駅から山頂駅へ上ると、そこは標高 2,000m。天気がよければ至仏山、武尊山など尾瀬を囲む山々、遠くに谷川岳を一望に見渡すことができます。振り返ると日光白根山が眼前に迫ります。標高 2,578m、関東以北の最高峰としての威容を誇る山。日本百名山に名を連ねています。</p> <p>ロックガーデン周辺を歩いてみるだけでも珍しい白いシラネアオイをはじめ、いろいろな高山植物を発見できるでしょう。</p> <p>「天空の足湯」(無料)もお見逃しなく。足元から身体全体をリラックスさせてみるのも良いでしょう。</p>	<p>硬度:22.0 pH:7.6 取水量 18 ℓ/分 冬期:○</p> <p>夏でも手の切れそうなほど冷たい水が滾々と湧き出しています。湧出源はこのすぐ後ろにあり、そこから直接引いています。</p> <p>ここは古くは「御座野入」と書き、上州の観音札所・沼田横堂三十三所の二十九番の札所です。背後の山の中腹、右上の神社がこの地の歴史を物語ります。登って行くと、最近建て替えられた社の前に石碑があり、御詠歌が彫刻されています。</p> <p>この給水施設は地元の人たちが寄進して整備したもので、茅葺きの屋根の中にその人たちの名前が記されています。地元の人たちは、冬の間も休まず毎月一回、日を決めてこの周辺の清掃を行っています。</p>	<p>硬度:18.0 pH:7.7 取水量 14 ℓ/分 冬期:×</p> <p>片品村営日帰り温泉の一つ、花の駅・片品花咲の湯の玄関脇に給水口が設営されています。武尊山の伏流水を原水とする配水池から引いています。</p> <p>古くからの伝説で、傷を負ったイノシシや鹿などが山から下りてきて、自然に出来た水飲み場で体を癒したとあります。</p> <p>武尊山の伏流水は、おいしい水であるだけでなく、ここの寒暖差の激しい気候と相俟って、野菜や果物を育てる土壌を作っています。</p> <p>「花咲の湯」</p> <p>大浴場ではマッサージ効果のあるジェットバブルとサウナ、露天風呂では季節の花々を楽しめます。</p> <p>入浴後は、畳の上で食事ができる大広間と自然庭園、尾瀬の四季を描いた小暮真望のギャラリーで寛ぎましょう。レストランでは地元の旬の野菜を取り入れています。</p>